

平成30年8月22日(水)

始業集会

1 夏季休業は瞬く間に終了した。大きく三つのことを言います。

中国の漢詩に「偶成」(朱熹)がある。七言絶句である。七言絶句は、一、二、四行目の最後の時で韻を踏む。漢文のセンター対策を行った人には分かる。

少年易老学難成  
少年老い易く学成り難し  
一寸光陰不可軽  
一寸の光陰軽んず可からず  
未覚池塘春草夢  
未だ覚めず池塘春草の夢  
階前梧葉已秋声  
階前の梧葉已に秋声

[口語訳]

(人間の)青年時代は(時の経過が早く)いつのまにか年老いた時を迎えがちなものであるが、(それに反して)学業はなかなか成就しないものである。

(それゆえ若い時代には)わずかな時間でもゆるがせにはならない。

池のほとりの堤に萌え出る若草のような(青年時代の)夢がまだ覚めきらないうちに、階段の前の青桐の葉は、はやくも秋風に吹かれてさびしく音をたてて(散って)いるのである(から)。

この詩の解釈として大切な部分は、一寸の光陰軽んずべからずである。

文学部を志望している者は、寝る間15分を使って様々な小説の件を読みなさい。

法学部を志望する者は、国家や法に関して、毎日必ず5分でいいから調べなさい。

経済学部を志望する者は、朝15分で新聞を読みなさい。

理学部や工学部を志望する者は、大学への数学の問題を1問解きなさい。

国際学部関係は、英字新聞や原書を読んだり、英単語を10個確認しなさい。

医学部関係者は、養老孟司や日ノ原先生の文章をきちんと10行読みなさい。

識見を高くして、受験術に長けるだけではなく、教養の一縷を身につけること。これに徹すれば道は開けるが、元々道は自分が歩いてつける道で、何度も何度もあるって道にするしかありません。

周章てず焦らず諦めず明日を信じて進むのみです。

2 毎年夏休みの後に、心身の疲労から不安定になる児童生徒が増えている。

生きることに悩みはつきものであるが、一人で背負うことはない。ハードルを越えていくのにも、高い壁を乗り越えるすべだけではなく、ひらりと回り道をしたり、下をくぐったりいくつもの越え方がある。

私も、皆さんも、抱えることは山ほど会っても、あらかじめ対応できればよいことができないと相当なプレッシャーになる。ちょっとした言葉でも重くのしかかることもある。だれかに話せれば心のつかえも取れるので、話す機会を見つけてほしい。話すことができなければ、手紙に書いてもう一度よく読んで、担任の先生や部活動の顧問に読んでみていただけるようお願いして下さい。私に持ってきてくれてもいいですよ。

必ず貴方たちのそばにいますので。使いようは山ほどありますぞ。

### 3 SNSの功罪はいろいろある。

便利な者は便利故に、人間的な部分を奪ったり、他人への思いやりを考慮しなかったり、人としての尊厳を失うことだってある。

スマートフォンは一つのツール。なくても生きていくことはできる。水や空気とは違うもの。科学の進展によって科学そのものは、倫理的な善悪を考慮することはないから、科学の奴隷になることになりがちだが、あくまでもツールの一つ。道具に使われるな。特に、県内の高校生の中で大きな問題として、盗撮が至るところで起きている。学校にいられなくなる。大きなリスクを伴う軽はずみな出来事は危険な罠に満ちているので、簡単に撮影することはよしましょう。

以上、秋から冬への大きな実りに向けてこの二学期を乗り切るぞ。